資料　5－2

「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募に関する運営委員会での評価結果

平成26年度第4回運営委員会にて評価された課題　43件

① 運営委員会で「承認」と評価された課題　21課題

受付番号	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名
27J0005	ブタ等大型動物体内で作らせるヒト血液細胞と日本赤十字社血液製剤の比較解析	花園　豊	自治医科大学
27J0008	造血幹細胞移植後のリンパ球受容体遺伝子の多様性の検討	一戸　辰夫	広島大学原爆放射線医科学研究所放射線災害医療研究センター血液・腫瘍内科研究分野
27J0013	ヒト赤血球の膜構造の研究	山口　武夫	福岡大学理学部化学科
27J0015	NATコントロールサーベイ事業（血液対策課委託事業）	浜口　功	国立感染症研究所
27J0016	熱帯熱マラリア原虫の膜輸送機能タンパクダイナミンを標的としたマラリア薬の開発	竹居　孝二	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生化学分野
27J0017	カーボンナノホーンがヒトマクロファージに及ぼす影響評価	平田　恵理	北海道大学大学院歯学研究科
27J0018	熱帯熱マラリア原虫の細胞内物質輸送機構の解析	入子　英幸	神戸大学大学院保健学研究科
27J0021	酵素抗体法による検査試薬の開発	中川　仁	SBIファーマ株式会社神戸研究所
27J0023	末梢血のエフェクター及び制御性リンパ球の迅速測定法の開発	渡辺　充	シスメックス株式会社
27J0024	日本赤十字社血小板製剤を用いたウサギ・ブタでの血栓形成能の解析	西村　智	自治医科大学分子病態研究部
27J0027	体外診断用医薬品の開発	小森　誠	アボットジャパン株式会社診断薬・機器事業部　総合研究所第二研究室
27J0030	ドレープ上の出血量推定	吉岡　征夫	横浜市立市民病院麻酔科
27J0031	Donath-Landsneiner抗体の力価測定	福島　健太郎	りんくう総合医療センター
27J0035	自然免疫系に関与する新規調節因子の解析	高岡　晃教	北海道大学　遺伝子病制御研究所分子生体防御分野
27J0045	犯罪鑑識を目的とした血液の利用について	福留　昭人	奈良県警察本部刑事部科学捜査研究所法医係
27J0048	地域医療機能推進機構病院（JCHOグループ）臨床検査精度管理調査	手塚　浩一	地域医療機能推進機構病院　臨床検査技師会
27J0050	新鮮凍結血漿（FFP）からの最適なクリオプレシピテート作製法の確立	大石　晃嗣	三重大学医学部付属病院輸血部
27J0051	血小板機能に関する研究	横山　毅	一般社団法人日本血液製剤機構研究開発本部中央研究所
27J0053	①血液型判定用試薬の改良検討②凍結血球試薬基礎検討	朝日　信雄	和光純薬工業株式会社臨床検査試薬研究所
27J0055	日本総合健診医学会精度管理調査	福武　勝幸	日本総合健診医学会
27J0056	微量の血液検体によるリトドリン濃度測定法の開発とその応用	相馬　まゆ子	天使病院薬剤科

② 運営委員会で「修正の上で承認」と評価された課題　22課題

受付番号	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名
27J0003	ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究	西村 知泰	慶應義塾大学保健管理センター
27J0004	血小板共培養下における固形癌細胞の転移獲得能の機序解明	清水　直美	東邦大学医療センター佐倉病院
27J0009	ヒト血小板を利用したヒト成人幹細胞の大量高速培養法の開発	吉村　浩太郎	東京大学形成外科
27J0012	マラリア原虫のライフサイクル分子基盤解明	美田　敏宏	順天堂大学
27J0025	新規血中癌マーカー開発試薬の特異性評価	吉村　徹	アボットジャパン株式会社総合研究所
27J0026	新規血中精神疾患マーカー開発試薬の特異性評価	吉村　徹	アボットジャパン株式会社総合研究所
27J0028	感染症検査試薬の性能評価	山田　徹	アボットジャパン株式会社総合研究所　第3研究室
27J0029	再生医療用途を目的とした人工酸素運搬体の開発	伊藤　大知	東京大学医学部
27J0032	血漿濃縮による凝固因子濃縮の評価	鷹取　誠	広島市立広島市民病院麻酔・集中治療科
27J0034	選択式血漿分離膜を用いた免疫吸着療法の有用性に関する検討	花房　規男	東京大学医学部附属病院腎疾患総合医療学講座
27J0037	血中微生物回収方法の検討に用いる資料としての献血血液の使用	石原　英幹	ニットーボーメディカル株式会社研究開発部
27J0038	体外診断薬開発に係る献血血液の使用	石原　英幹	ニットーボーメディカル株式会社研究開発部
27J0041	ヒトパルボウイルスB19抗原検出試薬の新規開発	高浜　洋一	シスメックス株式会社免疫・生化学プロダクトエンジニアリング本部
27J0043	Jra抗原陰性のヒトにおけるBCRP(breast cancer resistance protein)の発現・輸送機能の低下に伴う内因性物質の変動に関する検討	楠原　洋之	東京大学大学院薬学系研究科
27J0046	ヒトにおける抗PEGIgM保有率に関する疫学調査	石田　竜弘	徳島大学大学院
27J0047	肝炎ウイルス検出試薬の開発及び製造	阿部　由紀子	G&Gサイエンス株式会社
27J0049	iPS細胞由来血小板の製剤化に向けた研究	西河　芳樹	株式会社メガカリオン
27J0052	作製血小板の有用性の検討	松原　由美子	慶應義塾大学医学部発生・分化生物学
27J0057	既存および改良中の検査試薬に関する性能評価	江田　信一	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社LCM部門
27J0058	診断用医薬品の新規開発における性能評価	江田　信一	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社LCM部門
27J0059	血液で発電する体内埋込型機器用電源の開発	綾戸　勇輔	信州大学
2015-01	血漿中のヘモグロビンを摘出する方法	水上　広志	ナノシエル会社

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

資料　５－２（参考）

過去の公募の評価結果・承認課題一覧
（平成26年度公募、平成25年度公募）

評価等結果(平成26年度)について

1. 事前評価を必要とするもの(平成25年度第6回運営委員会での評価結果)

(日本赤十字社への申請)

「承認」・・・・・・・・・12件
「修正の上で承認」・・・・15件
「保留」・・・・・・・・・・0件
「却下」・・・・・・・・・・2件

(一般社団法人日本血液製剤機構への申請)

「承認」・・・・・・・・・・2件

2. 事前評価を必要としないもの

(日本赤十字社への申請)

「承認」・・・・・・・・26件

3. 承認課題一覧

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-5253-1111(代表)
Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

承認課題一覧

平成25年5月30日現在

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
26J0001		人工赤血球（ヘモグロビン小胞体）製剤の実用化を目指す研究	酒井宏水	奈良県立医科大学 教授	(1)	(1)	赤血球100バッグ
26J0002		医学部生の血液型と交差適合試験の実習	福山直人	東海大学医学部生体構造機能学 准教授（生理学 科目責任者）	(1)	(1)	赤血球12バッグ、血漿12バッグ
26J0003	○	免疫ヒト化マウスの作成と応用（献血利用）	竹原 徹郎	大阪大学大学院医学系研究科 教授	(2)	(1)	全血6バッグ
26J0004	○	臓器再生療法開発のためのヒト脂肪組織由来幹細胞の分離および解析	金子 周一	金沢大学医薬保健研究域医学系 教授	(2)	(1)	血漿5バッグ、血小板60単位
26J0005		佐賀大学医学部附属病院検査部内の実技講習会	山田尚友	佐賀大学医学部附属病院検査部 輸血・細胞療法係長	(1)	(1)	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
26J0006		輸血研修会試料として使用	松川 正男	社団法人沖縄県臨床検査技師会 会長（臨床検査技師）	(1)	(1)	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
26J0008		（一社）愛媛県臨床検査技師会精度管理調査事業 （輸血分野）	西宮 達也	（一社）愛媛県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球3バッグ、血漿3バッグ
26J0009		輸血学実習授業のための譲渡血	玉内 秀一	愛媛県立医療技術大学 保健科学部・臨床検査学科 教授	(1)	(1)	赤血球12バッグ、血漿9バッグ
26J0010	○	ヒトレトロウイルス感染症に対する抗ウイルス薬開発	松岡 雅雄	京都大学ウイルス研究所 教授	(2)	(2)	白血球除去フィルター20個
26J0011	○	生体材料の血液適合性の評価	山岡 哲二	国立循環器病研究センター研究所 生体医工学部 部長	(2)	(1)	血漿15バッグ
26J0012		輸血検査に係る実技講習会	山崎 恭詩	札幌臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球3バッグ、血漿3バッグ
26J0013		輸血検査コントロールサーベイ	高橋 智哉	日本輸血・細胞治療学会北海道支部 認定輸血検査技師協議会代表	(1)	(1)	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
26J0014		日本大学医学部学生に対する輸血前検査実習での献血血液使用	中山 智祥	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野 教授	(1)	(1)	赤血球7バッグ、血漿5バッグ
26J0015		臨床検査精度管理調査	伯井 俊明	一般社団法人 大阪府医師会 会長	(1)	(1)	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
26J0016		学生実習用	松本 俊夫	徳島大学病院輸血細胞治療部 部長（教授）	(1)	(1)	赤血球10バッグ、血漿10バッグ、セグメント60本
26J0017	○	局所麻酔薬過剰投与時における脂肪乳剤の有用性に関する研究	山下 美妃	北海道薬科大学 准教授	(2)	(1)	血漿5バッグ
26J0019		日本臨床衛生検査技師会 関西支部輸血研修会	井上 和子	一般社団法人 京都府臨床検査技師会 輸血研究班班長	(1)	(1)	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
26J0020		全国社会保険病院臨床検査技師会等 血液・輸血検査 実技講習会	鈴木 克	全国社会保険病院臨床検査技師会 血液・輸血検査研修班班長	(1)	(1)	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
26J0022	○	難治性血液疾患に対する間葉系幹細胞を利用した臍帯血移植技術の改良	前川 平	京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部 教授	(2)	(1)	血漿1L、血小板50単位
26J0025		埼玉県臨床検査技師会 輸血検査実技講習会	砂川 進	埼玉県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
26J0026	○	製造業者が製造・販売するHbA1C測定試薬のNGSP規格認証に必要な評価用試験血液試料の作成	梅本 雅夫	一般社団法人 検査医学標準物質機構 代表理事	(2)	(1)	赤血球25バッグ
26J0027	○	β2グリコプロテインIの構造と機能の研究	武谷浩之	崇城大学生物生命学部応用生命科学科	(2)	(1)	血漿10L
26J0028	○	ライ菌の試験管内培養	天児 和暢	九州大学 名誉教授	(2)	(1)	血漿4バッグ
26J0029		輸血検査技術指導伝達講習会（仮）	宮島 喜文	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球50バッグ、血漿50バッグ
26J0030		輸血検査に係る実技研修	及川 雅寛	一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
26J0031		免疫検査学実習における輸血関連検査	太田 悦朗	北里大学医療衛生学部 講師	(1)	(1)	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
26J0032		臨床検査技師育成課程における輸血検査実習	川村 宏樹	新潟医療福祉大学医療技術学部臨床技術学科 講師	(1)	(1)	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
26J0034		卒後臨床研修医輸血検査実習	芳川 浩男	兵庫医科大学病院卒後臨床研修センター センター長	(1)	(1)	赤血球1バッグ、血漿2バッグ
26J0035	○	感染症安全対策体制整備事業 輸血の安全性確保を目指した感染症安全対策体制構築のための研究	浜口 功	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 部長	(1)、(2)	(1)	血漿5バッグ
26J0036		日本臨床衛生検査技師会指定講習会（毎年開催）日本臨床衛生検査技師会九州支部卒後教育セミナー（隔年開催）	川野 洋之	日本臨床衛生検査技師会九州支部 輸血・移植検査部門員	(1)	(1)	赤血球10バッグ、血漿10バッグ、セグメント280本
26J0037	○	製品の品質管理に係る献血血液の使用	石原 英幹	ニットーボーメディカル株式会社 研究開発部部長	(2)	(2)	検査残余全血175本
26J0038	○	検査試薬に対する非特異反応等回避への使用	林 司	株式会社カイノス 執行役員 開発本部長	(2)	(2)	検査残余血清2,400本
26J0039	○	脳梗塞再生治療に用いる骨髄幹細胞培養に使用する血小板溶解物の作成	寶金 清博	北海道大学病院 病院長	(2)	(1)	血小板300単位
26J0040		福井県輸血検査実技研修会	押野 寛美	一般社団法人 福井県臨床検査技師会 移植検査部門長	(1)	(1)	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
26J0041	○	血液感染症を測定する体外診断用医薬品の性能評価	玉野上 裕子	アリーアメディカル株式会社 製品開発部部長	(2)	(2)	検査残余血清1,000本
26J0042		急速輸血を行う際の注射器で血液製剤を吸引し押し出す操作および血液製剤バッグの加圧が血液製剤の溶血に与える影響の調査	河本 昌志	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 麻酔蘇生学 教授	(1)	(1)	赤血球10バッグ
26J0043		血液製剤バッグの加圧により急速輸血を行う際の加圧の圧力と投与速度の関係の調査	河本 昌志	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 麻酔蘇生学 教授	(1)	(1)	赤血球6バッグ
26J0044	○	細胞培養によるヒト免疫不全ウイルスの性状解析	景山 誠二	鳥取大学医学部ウイルス学分野 教授	(2)	(1)	全血400mL
26J0045	○	高感度免疫測定法によるHBc抗体測定試薬の開発	定本 伸也	栄研化学株式会社生物化学第一研究所 研究所長	(1)	(2)	検査残余血清600本
26J0046	○	核酸増幅の前処理技術（核酸精製技術）に関する検討	納富 継宣	栄研化学株式会社生物化学第二研究所 研究所長	(2)	(1)、(2)	血漿10バッグ、検査残余全血100本、検査残余血清100本
26J0047	○	末梢血単核球からのiPS細胞誘導とリンパ球分化	金子 新	京都大学iPS細胞研究所 准教授	(2)	(2)	白血球除去フィルター15個
26J0048	○	血中濃度を指標とした医薬品の適正使用に関する研究	猪爪 信夫	北海道薬科大学 教授	(2)	(1)	全血2バッグ、血漿2バッグ
26J0049	○	新規血中癌マーカー開発試薬の特異性評価	吉村 徹	アボットジャパン株式会社 総合研究所所長	(2)	(2)	検査残余血清200本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
26J0050	○	新規血中精神疾患マーカー開発試薬の特異性評価	吉村 徹	アボットジャパン株式会社 総合研究所所長	(2)	(2)	検査残余血清200本
26J0051	○	感染症検査のための体外診断用医薬品の開発	小森 誠	アボットジャパン株式会社 診断薬・機器事業部 総合研究所 第二研究室 室長	(1)、(2)	(2)	検査残余血清1,500本
26J0052	○	臨床検査試薬の性能評価	山田 徹	アボットジャパン株式会社 総合研究所 第3研究室 室長	(2)	(1)、(2)	血漿100バッグ、検査残余血清100本
26J0053	○	小細胞肺癌の新規診断法の開発	下条 正仁	関西医科大学 医化学講座 講師	(2)	(2)	検査残余血清20本
26J0054	○	臨床検査精度管理事業	森 洋一	一般社団法人 京都府医師会 会長	(1)	(1)	血漿6バッグ
26J0055		気送管搬送を行った血液製剤の品質評価	池淵 研二	埼玉医科大学病院国際医療センター 輸血・細胞移植部 部長	(1)	(1)	赤血球30バッグ、血小板100単位
26J0056		臨床検査実習	田中 一正	昭和大学富士吉田教育部 教授	(1)	(1)	赤血球8バッグ、血漿2バッグ
26J0057	○	HBs抗体測定用試薬およびHCV抗体検出用試薬の新規開発	二宮 忠司	富士レビオ株式会社 研究開発部部門長	(1)、(2)	(2)	検査残余血清10,000本
26J0058	○	石川県医師会臨床検査精度管理調査（免疫血清検査用）	近藤 邦夫	石川県医師会 医師	(1)	(1)	血漿4バッグ
26J0059		歯科臨床検査法における血液成分検査・血液型検査	黒田 和博	三重県立公衆衛生学院 学院長	(1)	(2)	検査残余全血4本

【一般社団法人日本血液製剤機構に対する申請】

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
2014-01	○	ヒト血液由来ロイシンリッチα2グリコプロテインの精製	井上 晴嗣	大阪薬科大学	(2)	(2)	ロイシンリッチα2グリコプロテインが多く含まれると推定される血漿分画製剤の製造工程で得られた廃棄画分 200g
2014-03	○	抗第Ⅷ／Ⅸ因子、von Willebrand因子（VWF）抗体検出法の開発	一瀬 白帝	山形大学医学部	(2)	(3)	第Ⅷ因子製剤（1000単位）を5バイアル、VWFを含む第Ⅷ因子製剤（1000単位）を5バイアル

※1 献血血液の使用目的	(1) 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上 (2) 広く国民の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	(1) 血液製剤の規格に適合しない血液（検査等により不適合となった血液、有効期限切れの血液） (2) 血液製剤の製造に伴って副次的に得られるもの （検査用検体の残余血液、保管年限を超えた調査用の血液、血漿分画製剤の製造過程で得られた廃棄画分） (3) 血液製剤としての規格に適合する血液

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話：03-5253-1111（代表）
Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

評価等結果(平成25年度)について

1. 事前評価を必要とするもの

(1)平成24年度第4回運営委員会での評価結果

(日本赤十字社への申請)

・「承認」・・・・・・・・・・88件(うち、取り下げ1件)

・「修正の上で承認」・・・・・8件

・「保留」・・・・・・・・・・・0件

・「却下」・・・・・・・・・・16件

(一般社団法人日本血液製剤機構への申請)

・「承認」・・・・・・・・・・・1件

(2)平成25年度第3回運営委員会での評価結果

(一般社団法人日本血液製剤機構、一般社団法人化学及血清療法研究所、日本製薬株式会社への申請)

・「修正の上で承認」・・・・・1件

2. 事前評価を必要としないもの

(日本赤十字社への申請)

・「承認」・・・・・・・・・140件(うち、取り下げ4件)

3. 承認課題一覧

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話:03-5253-1111(代表)

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

承認課題一覧

平成25年11月1日現在

【日本赤十字社に対する申請】

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0002		理学部臨床検査技師養成コース病院実習	岩下　洋一	東邦大学医療センター佐倉病院輸血部・臨床検査技師	(1)	(1)	赤血球1単位 4本、血漿1単位 4本
25J0003		教育目的の検査実習	藤田　禎三	福島県立総合衛生学院・学院長	(1)	(1)、(2)	血球 500mL、 血漿 240mL 検査用検体残余全血 45本
25J0004		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	小野川　傑	杏林大学保健学部臨床検査技術学科・専任講師	(1)	(1)	赤血球2単位 8本、血漿240mL 4本
25J0005		金沢大学保健学科臨地実習	高見　昭良	金沢大学病院・輸血部長	(1)	(1)	赤血球2単位 3本、 血漿2単位 2本、 血漿 100mL
25J0007		福岡大学医学部第4学年における血液型判定実習	久保　真一	福岡大学医学部法医学教室・教授	(1)	(1)	血球 400mL 7本、 血漿 400mL 4本
25J0008	○	検査用の精度管理用コントロールの製造	新井　秀夫	オリエンタル酵母工業（株）・取締役　バイオ事業本部長	(2)	(2)	検査用検体残余血清、約2000L
25J0011	○	ハンセン病及び結核発症予防のためのBCGワクチンの改良	牧野　正彦	国立感染症研究所・部長	(2)	(1)	400mL由来全血液、毎週2～3本
25J0012	○	血漿セレン含有タンパク質セレノプロテインPに関する研究	斎藤　芳郎	同志社大学・准教授	(2)	(1)	血漿、3～6L
25J0013		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査業務支援	五十嵐　健一	(社)茨城県臨床検査技師会　生命倫理検査部門・輸血・移植検査分野 分野長	(1)	(1)	赤血球2単位 6本、 血漿2単位 6本
25J0014	○	検査試薬製造での使用	大城戸　良浩	シスメックス国際試薬（株）・生産管理部長	(2)	(1)	血漿 20,060mL
25J0015		富山県臨床検査精度管理協議会	高柳　尹立	富山県臨床検査精度管理協議会・医師	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 血漿2単位 4本
25J0016		愛知県臨床検査精度管理調査(輸血検査部門)	松本　祐之	(社)愛知県臨床衛生検査技師会・会長	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 成分採血由来血漿 5本
25J0017		愛知県臨床衛生検査技師会　輸血検査研究班　基礎講座	松本　祐之	(社)愛知県臨床衛生検査技師会・会長	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 成分採血由来血漿 5本
25J0019		輸血検査の実習	畠山　真奈美	北海道医学技術専門学校・教員	(1)	(1)	赤血球1単位 4本×6回/年、 血漿 500mL/年
25J0020		認定輸血検査技師協議会認定試験	田崎　哲典	認定輸血検査技師協議会・試験委員長	(1)	(1)	赤血球2単位 20本 血漿 2,500mL
25J0021		日本大学医学部学生に対する輸血前検査実習での献血血液使用	中山　智祥	日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野・教授	(1)	(1)	赤血球2単位 47本、 血漿2単位 5本
25J0022	○	熱帯熱マラリア原虫のin vitro培養系による病原機構の解明	野崎　智義	国立感染症研究所　寄生動物部・部長	(2)	(1)	赤血球1単位、血漿1単位を各1本、隔週に1回
25J0023		医学部学生の血型判定の実習	水口　純一郎	東京医科大学　免疫学講座・主任教授	(1)	(1)	赤血球 200mL 4本、 血漿 200mL 4本
25J0025	○	生体膜に関する基礎知識の普及	山口　武夫	福岡大学 理学部 化学科・教授	(2)	(1)	赤血球 7本
25J0026	○	国家検定、収去試験、および規格試験の実施	百瀬　暖佳	国立感染症研究所・厚生労働技官	(1)、(2)	(2)	検査用検体残余、約380mL
25J0028		臨床免疫学実習における輸血検査の指導	行正　信康	埼玉県立大学・准教授	(1)	(1)	赤血球 200mL 4本
25J0029	○	抗血小板抗体検出試薬製造に必要な有効期限切血小板製剤について	吉村　成明	ベックマン・コールター・三島株式会社　品質保証グループ・製造管理者	(1)	(1)	血小板、7000単位
25J0030	○	TAFIの結晶構造解析	林　郁子	横浜市立大学生命ナノシステム研究科・准教授	(2)	(1)、(2)	血漿、約10L
25J0031		臨床検査技師養成実習	阿部　すみ子	高崎健康福祉大学・教授	(1)	(1)	赤血球1単位 4本、 血漿1単位 4本
25J0032	○	マラリア原虫のガメトサイト形成機構の解明	筏井　宏実	北里大学獣医学部・講師	(2)	(1)	赤血球2単位 1本、血漿2単位 2本を月1回
25J0033		平成25年度輸血検査部門の精度管理	松尾久美子	徳島県臨床検査技師会・精度管理委員会輸血検査部門責任者	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 血漿2単位 3本
25J0035		輸血学実習授業のための譲渡血	高山　成伸	大東文化大学　スポーツ・健康科学部　健康科学科・教授	(1)	(1)	赤血球 2,600mL、 血漿 1,600mL
25J0036		埼玉県医師会臨床検査精度管理事業	金井　忠男	埼玉県医師会・会長	(1)	(1)	赤血球 2,000mL、 血漿 2,000mL
25J0037		輸血検査実習	河原　進	松戸市立病院・臨床検査技師	(1)	(1)	赤血球1単位 1本、 血漿2単位 1本
25J0038	○	抗マラリア原虫薬の開発	渡邉　信元	独立行政法人理化学研究所・チームヘッド	(2)	(1)	赤血球100mL、血漿100mLを月2回
25J0039		卒前卒後医学教育（輸血検査実習）	半田　誠	慶應義塾大学医学部　輸血・細胞療法センター・教授	(1)	(1)	赤血球2単位 4本 月2～3回
25J0040	○	クリオプレピシテートの凝固データ検討	米村　雄士	熊本大学医学部附属病院 輸血細胞治療部・副部長（講師）	(2)	(1)	成分採血由来血漿、10本
25J0041	○	マラリア原虫の増殖機構及び宿主-マラリア原虫相互作用の解明	堀井　俊宏	大阪大学微生物病研究所・教授	(2)	(1)	赤血球2単位 54本、 血漿2単位 27本
25J0042		学部学生の免疫検査学実習	小松　博義	文京学院大学保健医療技術学部・教授	(1)	(1)	赤血球2単位 8本、 血漿2単位 8本 2回

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0044		地域の輸血検査の安全性向上のための取組	伊関 喜久男	香川県臨床検査技師会・輸血研究班長	(1)	(1)	赤血球2単位 20本、 血漿2単位 20本
25J0045	○	マラリア原虫感染後の赤血球内部に構築される膜に対する機能解析	早川 枝李	自治医科大医学部・助教	(2)	(1)	赤血球 200mL
25J0046	○	既承認体外診断用医薬品における品質管理試験用	殿岡 健太郎	株式会社シマ研究所・薬事部サブディレクター	(2)	(2)	検査用検体残余血清または血漿200～300本
25J0047		人工赤血球（ヘモグロビン小胞体）製剤の実用化を目指す研究	酒井 宏水	早稲田大学・上席研究員（研究院教授）	(1)	(1)	赤血球 600単位
25J0048	○	ヒト赤血球膜蛋白質バンド3の構造-機能相関研究	濱崎 直孝	長崎国際大学薬学部・教授	(2)	(1)	200mL由来赤血球、月5本
25J0049		栃木県臨床検査精度管理調査	長島 徹	栃木県医師会・常任理事	(1)	(1)	赤血球 400mL 2本、 血漿2単位 2本
25J0050		血小板製剤の長期保存に関する研究	菊池 亮	熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科・准教授	(1)	(1)	ALT落ち血小板1～2本
25J0051		輸血・移植検査学実習	菊池 亮	熊本保健科学大学保健科学部医学検査学科・准教授	(1)	(1)	赤血球 2本、 血漿 1本、 血漿100mL
25J0052	○	アミノ酸制御による新規のマラリア治療・予防法の開発研究	案浦 健	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座・助教	(2)	(1)	赤血球2単位 月1本、血漿10単位 年2回
25J0053		学生実習(輸血検査学実習)	細井 英司	徳島大学医学部保健学科・教授	(1)	(1)、(2)	赤血球1単位 6本、 赤血球セグメント 840本、 検査用検体残余全血 90本、 血清または血漿50mL
25J0054		ABO式、Rh式血液型判定の検査実習	加藤 洋	東京工科大学・教授	(1)	(1)	赤血球2単位 16本、 血漿2単位 16本
25J0055		凝集反応試験（薬学実習IV）	東 伸昭	東京大学大学院薬学系研究科・准教授	(1)	(1)	赤血球2単位 4本
25J0056		日本輸血・細胞治療学会認定医制度認定試験	浅井 隆善	日本輸血・細胞治療学会・認定医精度審議会長	(1)	(2)	検査用検体残余全血約5mL 150本
25J0057		輸血認定検査技師施設研修及び院内技師研修	吉浦 洋子	福岡大学病院（輸血認定検査技師研修施設）・臨床検査技師	(1)	(1)	赤血球2単位 2本、 血漿 960mL
25J0058	○	ABO式血液型の判定	藤元 英治	山口県警察本部 科学捜査研究所・所長	(2)	(2)	検査用検体残余全血 月12本
25J0059		平成25年度 輸血検査実技研修会（四国四県）	西原 えり子	高知大学医学部附属病院・検査部副技師長	(1)	(1)	赤血球 20単位、 血漿 22単位
25J0060		学生実習(血液型、不規則抗体検査)	小野寺 利恵	山陽女子短期大学 臨床検査学科・講師	(1)	(1)	赤血球1単位 13本、 血漿2単位 2本
25J0061		学生の輸血検査学実習	山田 久	学校法人明経学園 美萩野臨床医学専門学校・教員	(1)	(1)	赤血球2単位 1本、 血漿2単位 1本 年1回
25J0062	○	ゲノム解析を用いたマラリア薬剤耐性の研究	菅野 純夫	東京大学大学院新領域創成科学研究科・教授	(1)、(2)	(1)	赤血球2単位 20本
25J0063		新人看護師輸血取り扱い研修	安村 敏	富山大学附属病院・輸血・細胞治療部副部長	(1)	(1)	赤血球2単位 40本、 血漿2単位 1本、 血小板10単位 1本
25J0066	○	体外診断用医薬品の品質保証のためのモニタリング	藤田 敬	アボットジャパン株式会社 診断薬・機器事業部 品質薬事ロジスティクス本部 品質保証部・セクションマネージャー	(2)	(1)	200mL由来全血液、50本
25J0067		平成25年度臨床検査技師実習技能研修2（輸血）	松本 純夫	独立行政法人国立病院機構・関東信越ブロック担当理事	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 血漿2単位 5本
25J0069	○	安全な血液製剤の改良・開発に関する研究	髙橋 勉	秋田大学医学部附属病院輸血部・教授 輸血部長	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、血漿2単位 5本、血小板10単位 5本
25J0070	○	献血血液を用いた医学部での教育研修	髙橋 勉	秋田大学医学部附属病院 輸血部・教授 輸血部長	(1)	(1)	赤血球2単位、血漿2単位 各15本
25J0071		福島県臨床検査技師会 学術部輸血・移植検査部門における教育	菊池 良子	福島県臨床衛生検査技師会 輸血・移植検査部門長	(1)	(1)	赤血球2単位 3本、 血漿2単位 3本
25J0072	○	生体外における器官培養技術の開発	辻 孝	東京理科大学 総合研究機構・教授	(2)	(1)	赤血球2単位 月10本
25J0073	○	総コレステロール測定用試薬及びトリグリセライド測定用試薬の性能試験等の際に自家使用する高濃度リポ蛋白画分試料の調整	根占 哲也	株式会社 セロテック・研究所所長	(2)	(2)	検査用検体残余血清、150L
25J0074	○	マラリア原虫のゲノム情報に立脚した新規の診断、治療、予防法の開発研究	河津 信一郎	帯広畜産大学 原虫病研究センター・教授	(2)	(1)	赤血球2単位 月1本、血漿10単位 年2回
25J0076		臨床検査技師会 精度管理	本田 昌樹	青森県臨床検査技師会・学術班 輸血移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球 7本、 血漿 5本、 検査用検体残余血清 60人分
25J0077		石川県臨床衛生検査技師会輸血検査研究班実技研修会	油野 友二	石川県臨床衛生検査技師会・会長	(1)	(1)	赤血球 3本、 血漿 4本
25J0078		学生実習（輸血検査）	笠原 聡	新潟医療技術専門学校・講師	(1)	(1)	赤血球 200mL 6本、 血漿 236mL 4本
25J0079		輸血検査技師研修会	深澤 恵治	社団法人群馬県臨床衛生検査技師会・会長	(1)	(1)	赤血球1単位 1本、 血漿1単位 1本
25J0080		平成25年度大分県医師会精度管理調査（輸血検査）	近藤 稔	大分県医師会・会長	(1)	(1)	赤血球 2本
25J0081		平成25年度大分県医師会精度管理調査（血液検査）	近藤 稔	大分県医師会・会長	(1)	(1)	赤血球2単位 1本、 血漿2単位 2本
25J0082		第28回群馬県臨床検査精度管理調査	新 勝典	社団法人群馬県臨床衛生検査技師会 精度保障事業部精度管理調査部会・部会長	(1)	(1)	赤血球2単位 3本、 成分採血由来血漿 3本
25J0083	○	検体検査の検査血球として使用	河島 一夫	石川県医師会臨床検査センター検査科・免疫血清主任（検査技師）	(2)	(1)	赤血球 月2本
25J0084		岡山県精度管理調査（輸血部門）	岡田 健	岡山県臨床検査技師会・会長	(1)	(1)	赤血球2単位 4本、 血漿2単位 2本
25J0085		平成25年度 臨床検査精度管理調査	北村 弘文	長野県臨床衛生検査技師会 精度管理委員会・委員長	(1)	(1)	赤血球2単位 2本、 血漿2単位 2本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0087	○	油症等のダイオキシン類による人体影響と遺伝要因との関連の解明に関する研究（精度管理による使用）	梶原　淳睦	福岡県保健環境研究所・生活化学課長	(2)	(1)	400mL由来全血液2本
25J0088	○	犯罪鑑識における標準血球等としての利用	久司　篤志	北海道警察本部刑事部　科学捜査研究所・専門研究官	(2)	(1)	セグメント　月30本
25J0089	○	動脈硬化制御作用を有する新規血管作動性ペプチドの探索　-輸血後の副作用、血管炎の予防への応用-	渡部　琢也	東京薬科大学　生命科学部　心血管医科学・教授	(1)、(2)	(1)	全血　計800mL、血漿　計800mL、年2回
25J0090		山口県精度管理調査及び実技講習会	中村　葉子	山口県臨床検査技師会・臨床検査技師	(1)	(1)	赤血球2単位　9本、　血漿2単位　7本
25J0091		輸血・移植検査学実習（神戸常盤大学保健科学部医療検査学科の学生実習）	永尾　暢夫	神戸常盤大学保健科学部　医療検査学科・教授	(1)	(1)、(2)	検査用検体残余全血　499本、赤血球　200mL、　血漿　400mL
25J0092		輸血検査学実習	石田　洋一	京都保健衛生専門学校・臨床検査学科教務部長	(1)	(1)	血漿　1,800mL、　赤血球2単位　6本
25J0093	○	法医学実務、薬毒物分析センター実務、および薬毒物分析法確立のため使用する	岩井　雅枝	愛知医科大学　医学部　法医学・助教	(2)	(1)、(2)	血漿を年10本、検査用検体残余血液を月4本
25J0094		臨床検査技師　実技実習（輸血検査）	丹下　富士男	一般社団法人　広島県臨床検査技師会	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　2本、　血漿2単位　2本、　検査用検体残余血清　12本
25J0095		岩臨技輸血・移植部門研修会	新沼　美穂子	岩手県臨床検査技師会　輸血・移植部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球　2本、　血漿　2本、　検査用検体残余血液　4本
25J0096		岩臨技精度管理事業　輸血・移植部門	新沼　美穂子	岩手県臨床検査技師会　輸血・移植部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球　2本、　血漿　2本、　検査用検体残余血液　4本
25J0099		山梨県医師会精度管理事業	大澤　智彦	一般社団法人山梨臨床衛生検査技師会	(1)	(1)	赤血球　10単位、　血漿　10単位
25J0100	○	小児および若年成人におけるT細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同研究第II相臨床試験（ALL－T11）	鶴澤　正仁	愛知医科大学小児科	(2)	(2)	検査用検体残余血液　隔週10本
25J0101		医学教育用	江頭　弘一	久留米大学病院　臨床検査部	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　10本、　血漿2単位　10本、　検査用検体残余全血　20本、血漿もしくは血清　67本
25J0102		福岡県臨床衛生検査技師会輸血検査研修用	江頭　弘一	福岡県臨床衛生検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　50本、　血漿2単位　50本、　検査用検体残余全血　20本、血漿もしくは血清　67本
25J0103	○	ABO式血液型検査	中木　真一	広島県警察本部刑事部科学捜査研究所	(2)	(2)	検査用検体残余90本
25J0104		新潟県臨床検査技師会　輸血・移植分野実技講習会	上村　正巳	新潟県臨床検査技師会　移植検査部門長	(1)	(2)	検査用検体残余18本
25J0105		東京都病院経営本部　東京都立病院輸血分野別検討会　統一精度管理（凝集サーベイ）	井澤　幸子	東京都保健医療公社　荏原病院　検査科技師長	(1)	(1)	赤血球2単位　3本、　血漿2単位　1本
25J0106		免疫検査学実習	望月　泰男	昭和医療技術専門学校　臨床検査技師科　教務課　学科長	(1)	(1)	赤血球2単位　12本(4本×3回)、血漿2単位　9本(3本×3回)
25J0107	○	抗酸菌の赤血球感染動態の研究	西内　由紀子	大阪市立大学医学部附属刀根山結核研究所	(2)	(1)	赤血球2単位、血漿2単位　月各1本
25J0108	○	急性リンパ性白血病(ALL)における定量PCRを用いた微少残存病変（MRD）測定法の確立と臨床的意義の検討	堀部　敬三	独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター	(2)	(2)	検査用検体残余血液　週10本
25J0110	○	犯罪捜査のための血液型検査	栗城　康夫	福島県警察本部　刑事部科学捜査研究所　所長	(2)	(1)	赤血球　月9本、血漿　月9本
25J0111		九州・沖縄地区臨床検査精度管理事業	楢原　真二	熊本保健科学大学　教授	(1)	(1)	赤血球2単位　20本、　血漿2単位　48本
25J0112		血液センターから供給を受けた血液を使用した輸血検査実習	井関　徹	千葉大学医学部附属病院輸血・細胞療法部　部長	(1)	(1)	血漿　600mL、　赤血球　2本
25J0115		山形県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門　実技研修会	上野　麻生子	山形県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　7本、　血漿2単位　5本、　検査用検体血液残余血液　6本
25J0116	○	新生児・妊婦におけるマススクリーニングの改善と精度向上	宮田　淳	札幌市衛生研究所　所長	(2)	(1)	200mL由来赤血球を年1、2本
25J0117		山形県臨床検査技師会 輸血・移植検査部門　精度管理	上野　麻生子	山形県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　5本、　血漿2単位　2本、　検査用検体血液残余血液　3本
25J0118		公益社団法人　兵庫県臨床検査技師会　輸血研究班活動	坊池　義浩	公益社団法人　兵庫県臨床検査技師会　輸血研究班長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　10本、　血漿2単位　10本 検査用検体残余全血　5本
25J0119		静岡県医師会臨床検査精度管理	梁瀬　博文	静岡県医師会臨床検査精度管理委員会	(1)	(1)	赤血球2単位　3本、　血漿2単位　3本
25J0120		医学部学生実習	堀池　重夫	京都府立医科大学　血液・腫瘍内科学教室　准教授	(1)	(1)	赤血球2単位　20本、　血漿2単位　20本
25J0121	○	複数の糖鎖特異抗体等を用いた血中微量物質測定システムの開発	木村　聡	昭和大学横浜市北部病院　准教授・輸血室長	(1)、(2)	(2)	検査用検体残余血清　約200本
25J0122		平成25年度山形県臨床検査精度管理	佐藤　直仁	山形県臨床検査技師会	(1)	(1)	赤血球2単位　2本、　血漿2単位　2本
25J0123	○	法医学資料のABO式血液型検査	細江　洋之	三重県警察本部刑事部科学捜査研究所	(2)	(1)	赤血球2単位　月9本
25J0124		学生臨地実習	香川　ひとみ	香川県立中央病院　輸血部　副主幹	(1)	(1)	赤血球　100mL　5本、　血漿　100mL　5本
25J0125		平成25年度　衛生検査所外部精度管理調査	前田　盛	兵庫県立健康生活科学研究所　所長	(1)	(1)	血漿　200mL以上　1本
25J0126		医学部臨床実習（輸血検査）	平田　信太郎	産業医科大学病院　病理・臨床検査・輸血部　副部長	(1)	(2)	検査用検体残余全血　32本×5回
25J0128		長崎県臨床検査技師会　輸血検査研究班活動	古賀　嘉人	長崎県臨床検査技師会　輸血検査研究班	(1)	(1)	赤血球　15本、　血漿　1,000mL

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0129	○	同種造血細胞移植患者のサイトメガロウイルスに対する細胞性免疫モニタリングに関する研究	近藤　英生	岡山大学病院　血液腫瘍内科　助教	(2)	(1)、(2)	血漿2単位　6本、白血球除去フィルター15個
25J0130		京都臨床検査技師会精度管理調査	相田　幸雄	京都府臨床検査技師会　輸血研究班　班長	(1)	(1)	赤血球2単位　2本、 血漿2単位　2本
25J0131	○	血小板製剤の細菌感染無侵襲検査技術に関する研究	桐村　浩哉	シスメックス株式会社　中央研究所　部長	(1)	(1)、(3)	血小板10単位　月12本
25J0132	○	ヒト悪性腫瘍の対する癌幹細胞抗原の同定と癌ワクチンの開発	佐藤　昇志	札幌医科大学病理学第一	(2)	(2)	検査用検体残余血清、月100mL
25J0133		質の高い輸血学教育研修の実践	梶原　道子	東京医科歯科大学　医学部附属病院輸血部　部長・講師	(1)	(1)	赤血球2単位　10本、 血漿2単位　10本
25J0134		本学　輸血検査実習	坂本　大	昭和大学病院	(1)	(1)	赤血球2単位　月7本
25J0135		鳥取県臨床検査精度管理調査	西川　清司	鳥取県臨床検査技師会　会長	(1)	(1)	赤血球2単位　2本、 血漿　800mL
25J0136		学生実習（臨床免疫学における輸血検査実習）	国分寺　晃	広島国際大学　教授	(1)	(1)	赤血球2単位　5本、 血漿2単位　5本
25J0137		日本臨床検査医学会専門医試験	小柴　賢洋	日本臨床検査医学会専門医認定試験　実行委員長	(1)	(1)	赤血球2単位　12本、 血漿　1,800mL
25J0138		輸血テクニカルセミナー実技講習会	髙橋　孝喜	日本輸血・細胞治療学会	(1)	(1)	赤血球2単位　10本、 血漿2単位　10本
25J0139		二級臨床検査士免疫血清学、緊急臨床検査士認定試験および免疫血清学技術講習会	水口 國雄	一般社団法人日本臨床検査同学院　理事長	(1)	(1)	赤血球2単位　64本、 血漿2単位　62本
25J0140		佐賀県臨床検査技師会輸血実技研修会	山田　麻里江	（社）佐賀県臨床検査技師会　輸血研究班　部門長	(1)	(1)	赤血球2単位　4本、 血漿　960mL
25J0141		多項目実用参照物質の作製と評価	篠原　克幸	特定非営利活動法人　日本臨床検査標準協議会　常任理事	(1)	(2)	検査用検体残余血清　30L/年
25J0142		輸血検査の学生実習	長井　一浩	長崎大学病院　准教授	(1)	(1)	赤血球40本に付している全セグメント（各6本程度）
25J0143	○	熱帯熱マラリア原虫人工染色体による遺伝子ライブラリー作製とそれを用いた薬剤耐性遺伝子の同定	岩永　史朗	三重大学　医学部　准教授	(2)	(1)	赤血球1単位　隔週2本
25J0144	○	感染症流行予測調査	中嶋　健介	厚生労働省健康局結核感染症課　感染症情報管理室長	(2)	(2)	全血、2.5mLを約5000人分
25J0145		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	稲福　全人	学校法人　湘央学園　湘央医技術専門学校　校長	(1)	(1)	赤血球2単位　23本、 血漿2単位　7本
25J0146	○	ヒト血液を用いた血液適合性材料のスクリーニング実験	古川　克子	東京大学大学院工学系研究科　バイオエンジニアリング専攻　准教授	(1)、(2)	(1)	赤血球、血小板、血漿各200mL　月3回
25J0147		京都府技師会輸血研究班実技講習会	万木　紀美子	京都大学医学部附属病院　輸血細胞治療部	(1)	(1)	赤血球2単位　8本、 血漿2単位　10本
25J0149		精度改善事業	齊藤　幸弘	神奈川県臨床衛生検査技師会　会長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　4本、 血漿2単位　8本
25J0150		輸血・血液型検査実習	齊藤　幸弘	神奈川県臨床衛生検査技師会　会長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　7本、 血漿2単位　6本、 検査用検体残余血液　5本
25J0151	○	マラリア原虫の分子細胞生物学的解析および時空間的動態解析	金子　修	長崎大学熱帯医学研究所　教授	(2)	(1)	赤血球200mL　週1回、血漿10単位　年4回
25J0152		輸血検査精度管理	小林　章人	三重県臨床検査技師会	(1)	(1)	赤血球2単位　5本、 血漿2単位　6本
25J0153		学生教育における血液型実習	大島　徹	金沢大学医薬保健研究域医学系　教授	(1)	(2)	検査用検体残余全血　15本
25J0154		東北臨床検査技師会　輸血・移植検査部門実技研修会	二部　琴美	東北臨床検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　7本、 血漿2単位　5本、 検査用検体残余血液　6本
25J0155		秋田県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門　実技研修会	林崎　久美子	秋田県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　7本、 血漿2単位　5本、 検査用検体残余血液　6本
25J0156		秋田県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門　精度管理	林崎　久美子	秋田県臨床検査技師会　輸血・移植検査部門長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位　7本、 血漿2単位　5本、 検査用検体残余血液　6本
25J0157		輸血検査実技研修会	亀山　拓哉	（社）静岡県臨床衛生検査技師会	(1)	(1)	赤血球2単位　4本、 血漿2単位　4本
25J0158		輸血学教育	鳥海　純	東京医学技術専門学校　校長	(1)	(1)	赤血球2単位　22本、 血漿2単位　17本
25J0159		島根県臨床検査技師会　精度管理調査　輸血検査部門	角森　正信	島根県臨床検査技師会　会長	(1)	(1)	赤血球2単位　3本 血漿2単位　2本
25J0160		佐賀県医師会臨床検査精度管理調査	宮地　律子	佐賀県医師会精度管理解析委員	(1)	(1)	赤血球　5本、血漿　3本
25J0161	○	ヘルパーT細胞を基軸とした免疫制御機構の解明と次世代がんワクチンの開発に関する研究	西村　孝司	北海道大学遺伝子病制御研究所　免疫制御分野　教授	(2)	(2)	検査用検体残余血清、約100mLを月1回
25J0162	○	アディポネクチンの物性及び機能解析	小林　祐次	大阪大学　特任教授	(2)	(1)、(3)	血漿20L
25J0163		滋賀県臨床検査技師会精度管理事業（輸血部会）	吉田　和夫	（公社）滋賀県臨床検査技師会　精度管理委員輸血部会代表	(1)	(1)、(2)	赤血球1単位　1本、 検査用検体残余血清　267人分
25J0165		広島県臨床検査精度管理調査	平松　恵一	広島県医師会　会長	(1)	(1)	赤血球2単位　3本、 血漿2単位　6本
25J0166		精度管理調査用資料として	北村　顕	社団法人　岐阜県臨床検査技師会　会長	(1)	(1)	赤血球2単位　2本、 血漿2単位　2本
25J0167		臨床検査技師対象実技研修会の試料として	北村　顕	社団法人　岐阜県臨床検査技師会　会長	(1)	(1)	赤血球2単位　4本、 血漿2単位　4本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0168		滋賀県臨床検査技師会 輸血・移植部門 実技研修会	吉田 正明	滋賀県臨床検査技師会 輸血・移植部門	(1)	(1)	赤血球2単位 10本、 血漿2単位 9本
25J0169		NATコントロールサーベイ事業	岡田 義昭	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 第一室長	(1)	(1)	血漿 15本（約3L）
25J0170		輸血検査実技講習	梅宮 敏文	千葉県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2単位 6本、 血漿2単位8本
25J0171		千葉県臨床検査技師会精度管理調査ならびに千葉県検査値統一推進事業	梅宮 敏文	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2単位 2本
25J0172		移植・輸血免疫学実習	鈴木 英明	北里大学保健衛生専門学院 臨床検査技師養成科 学科長	(1)	(1)	赤血球2単位 8本、 血漿2単位5本
25J0173	○	熱帯熱マラリア原虫の培養	久枝 一	群馬大学大学院医学系研究科 教授	(2)	(1)	血漿2単位 年5～10本
25J0174		学生実習（輸血検査）	本田 孝行	信州大学医学部附属病院輸血部 教授	(1)	(1)	赤血球2単位 3本、 血漿2単位6本
25J0175		輸血検査精度管理	梅宮 敏文	千葉県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2単位 3本、 血漿2単位6本
25J0176	○	マラリアワクチンの研究	坪井 敬文	愛媛大学無細胞センター 教授	(2)	(1)	赤血球1単位 月2本、血漿約2L 3回
25J0177	○	マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究	鳥居 本美	愛媛大学医学部寄生病原体学 教授	(2)	(1)	赤血球1単位 月1本、血漿約2L 3回
25J0178		医学生の輸血検査実習 血液型判定・交差適合試験	長谷川 雄一	筑波大学医学医療系 准教授	(1)	(1)	赤血球 8本、 血漿 8本
25J0179		学生実習（輸血検査）	紀野 修一	旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長	(1)	(1)	赤血球 12本、 血漿 12本、 赤血球セグメント 80本
25J0182		赤血球M・A・P「日赤」（RBC）、新鮮凍結血漿「日赤」（FFP）、濃厚血小板「日赤」（PL）を混合した場合の性状に関する研究	小山 典久	豊橋市民病院小児科 小児科第一部長	(1)	(1)	赤血球2単位 30本、 成分採血由来血漿 2本、 血小板5単位 2本
25J0183		輸血用血液の安全性確保のための研究	高橋 孝喜	東京大学医学部附属病院輸血部 教授	(1)	(1)	赤血球2単位 10本、 血漿2単位 10本、 血小板10単位 10本
25J0184		福島県臨床衛生検査技師会 精度管理事業	佐々木 義和	福島県臨床衛生検査技師会 精度管理事業部 精度管理委員長	(1)	(1)、(2)	赤血球2単位 2本、 血漿2単位4本 検査用検体残余全血 75本
25J0185		人工赤血球（赤血球代替物）の開発	小松 晃之	中央大学理工学部 教授	(1)、(2)	(1)	赤血球2単位 8本/年
25J0186		単純血漿交換療法における新鮮凍結血漿（FFP-LR）前洗浄の検討	中條 悟	兵庫県立塚口病院小児集中治療科 科長	(1)	(1)	血漿2単位 10本
25J0187		学生および研修医輸血検査実習	畠山 郁夫	臨床検査科 技師長	(1)	(1)	赤血球2単位 4本、 血漿2単位4本
25J0188	○	健常者血中TNNI3K濃度変化に関する研究	頼仲 方一	熊本大学生命科学研究部 生体機能薬理学分野 助教	(2)	(2)	検査用検体残余血清 200人分
25J0189		医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保証する精度管理調査試料の作製と活用	細萱 茂実	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 検査値標準化委員会委員長	(1)	(2)	検査用検体残余血清 30,000人分
25J0190	○	マラリア原虫のin vitro培養系を用いた薬剤耐性研究	遠藤 弘良	東京女子医科大学 教授	(2)	(1)	赤血球1単位 月1本、 血漿6単位
25J0191	○	平成25年度感染症流行予測調査	工藤 克博	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課 課長	(2)	(2)	検査用検体残余血清 154人分
25J0192	○	犯罪鑑識における標準血球等としての利用	大嶺 雅信	沖縄県警察本部刑事部 科学捜査研究所	(2)	(1)	セグメント 月3本
25J0193		輸血検査実技講習会	羽角 安夫	社団法人 栃木県臨床衛生検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2単位 2本
25J0194		獨協医科大学病院 平成24年度臨床研修医卒後研修 輸血検査実習	三谷 絹子	獨協医科大学病院 輸血部 教授	(1)	(1)	赤血球 400mL×4、 血漿2単位 4本
25J0195	○	熱帯熱マラリアの新規診断法の開発	川合 覚	獨協医科大学 准教授	(2)	(1)	赤血球 月1本
25J0196	○	医療機器の評価	二川 敬文	株式会社 常光 医療機器開発部長	(2)	(2)	検査用検体残余、全血3mLを100人分、0.5mLを300人分、血清0.5mLを150人分
25J0197		学生における輸血検査教育・実技講習	大戸 斉	福島県立医科大学 教授	(1)	(1)	赤血球 年間80本（10本×8回）
25J0198	○	FFP解凍装置の改良による製剤品質への影響	大戸 斉	福島県立医科大学 教授	(1)	(1)	血漿各規格（120mL、240mL、480mL） 各20本
25J0199	○	カリウム吸着フィルター使用による血液製剤品質への影響	大戸 斉	福島県立医科大学 教授	(1)	(1)	赤血球1単位 50本
25J0200	○	マラリアのワクチン・薬剤開発に関する研究	狩野 繁之	国立国際医療研究センター研究所 熱帯医学・マラリア研究部長	(2)	(1)	赤血球2単位 隔週で1本ずつ 血漿 8単位 隔週
25J0201		検査実習	雪屋 秀一	北九州市立医療センター	(1)	(1)	赤血球1単位 2本、 赤血球2単位 2本、 血漿2単位 2本、 成分採血由来血漿 2本
25J0202		初期臨床研修医 輸血検査実習	鷹野 壽代	雪の聖母会 聖マリア病院 中央臨床検査センター長	(1)	(1)	赤血球2単位 3～4本、 血漿2単位 3～4本
25J0203	○	培養熱帯熱マラリア原虫を用いた薬剤標的分子の探索研究	金 恵淑	岡山大学 准教授	(2)	(1)	赤血球2単位 隔週1本
25J0204	○	ヒト免疫担当細胞におけるシグナル伝達分子制御による免疫抑制機構の解明	山下 健一郎	北海道大学大学院医学研究科・移植外科学講座 特任准教授	(2)	(2)	白血球除去フィルター内血液3mL、月2,3回
25J0205	○	簡易ヘモグロビン測定装置開発及び改良	鈴木 康二	（株）ジェイ・エム・エス 中央研究所 第5研究室長	(1)	(2)	検査用検体残余血液、200本
25J0207	○	マラリア原虫のオルガネラの解析	北 潔	東京大学大学院 医学系研究科 生物医化学教室 教授	(2)	(1)	赤血球、血漿 各9.6L
25J0208	○	熱帯熱マラリアの新規治療薬の開発	大西 義博	公立大学法人大阪府立大学 大学院生命環境科学研究科 准教授	(2)	(1)	400mL全血液又は赤血球2単位1本 2～3週に1回
25J0209	○	新生児マススクリーニングの精度管理	原田 正平	(1)(独）国立成育医療研究センター研究所 成育政策科学研究部 研究室長 (2)(一	(2)	(1)	400mL由来全血液を22本、赤血球および血漿 400mL 各4本

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
				財）日本公衆衛生協会新生児スクリーニング研究開発センター 委員長			
25J0210		輸血基礎実技講習会	大西 修司	社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部 輸血検査部門 世話人責任者	(1)	(1)	赤血球2単位 7本、 血漿2単位 2本
25J0211	○	マラリア原虫ミトコンドリアDNA複製機構の解明	松下 正	名古屋大学医学部附属病院輸血部 教授	(1)、(2)	(1)	赤血球1単位 隔週1本
25J0212	○	遺伝子組換え植物を利用したマラリア伝播阻止型経口ワクチン実用化開発	池 和憲	日本獣医生命科学大学 獣医学部・獣医学科 准教授	(2)	(1)	赤血球 400mL 月1本
25J0213	○	好中球活性化制御に注目した敗血症病態解析と治療法開発	西堀 正洋	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 薬理学分野 教授	(2)	(1)	血漿 月20本、又は血漿 月4800mL
25J0214		輸血検査実技講習会	丸山 美津子	三重県臨床検査技師会 輸血検査研究班 班長	(1)	(1)	赤血球 4本、 血漿 2本
25J0215	○	末梢血由来の赤芽球を用いた病原体感染系の確立	岡田 義昭	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 第一室長	(1)	(1)	全血液 10本
25J0216	○	抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	水上 拓郎	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 第四室長	(2)	(1)	400mL由来全血液 月1,2本、血漿2単位 半年1本
25J0217		輸血用血液の病原体不活化法、及び保存法の開発	岡田 義昭	国立感染症研究所 血液・安全性研究部 第一室長	(1)	(1)	赤血球 15本、 血漿 10本
25J0219		東京都臨床検査技師会 輸血検査研究班実技講習会	下田 勝二	東京都臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球1単位 2本、 赤血球2単位 8本、 血漿2単位 3本、 成分由来血漿 3本
25J0220	○	犯罪鑑識を目的とした血液の利用について	福留 昭人	奈良県警察科学捜査研究所 法医係 係長	(2)	(2)	検査用検体残余全血 16本
25J0223	○	自動画像判定システムを用いた抗核抗体間接蛍光法（FANA）の基礎的性能と臨床的有用性の検討	菊地 強	（株）コスミックコーポレーション 取締役 技術部長	(2)	(2)	検査用検体残余血清 300人分
25J0225		実技講習会（輸血検査）	松田 直哉	道南臨床衛生検査技師会 会長	(1)	(1)、(2)	赤血球 15mL 6本、 血漿 15mL 6本
25J0226	○	院内におけるフィブリン糊導入にむけてのマニュアル作成	丸橋 隆行	群馬大学医学部附属病院	(1)、(2)	(1)	血漿 30本
25J0227	○	血漿由来フォンビルブランド因子の精製	藤村 吉博	奈良県立医科大学 教授	(2)	(1)	血漿 16L
25J0228	○	ホルマリン固定血小板の作成	藤村 吉博	奈良県立医科大学 教授	(2)	(1)	血小板50単位
25J0230	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体検出用試薬の標準品・コントロール製品の製造	内藤 勉	栄研化学株式会社 那須工場 工場長	(2)	(1)	血漿2単位 10本
25J0231	○	体外診断薬製品の品質管理	内藤 勉	栄研化学株式会社 那須工場 工場長	(2)	(1)	血漿1単位 50本
25J0232	○	超高感度HBs抗原測定法による献血検査の有用性	定本 伸也	栄研化学株式会社 生物化学第一研究所 研究所長	(1)	(2)	検査用検体残余全血 500本以上
25J0233	○	免疫学的臨床検査試薬における非特異反応の検討	定本 伸也	栄研化学株式会社 生物化学第一研究所 研究所長	(2)	(2)	検査用検体残余血清・血漿、1000人分
25J0234		輸血検査実習	竹下 明裕	浜松医科大学附属病院 教授	(1)	(1)	赤血球 100mL 4本、 血漿 100mL 4本
25J0235	○	質量分析法を用いたヒト体液中薬毒物検出手法の評価	石井 晃	名古屋大学大学院医学系研究科法医・生命倫理学 教授	(2)	(1)	200mL由来全血液20本
25J0236		学生実習（輸血検査学、臨床検査体験演習など）	一原 直人	純真学園大学 保健医療学部検査科学科	(1)	(1)	全血2単位 8本、 赤血球2単位 8本、 血漿2単位 8本、 赤血球 400mL、 血漿 400mL
25J0237	○	HTLV抗体陽性検体の検査試薬への使用	久保田 隆	富士レビオ株式会社 生産部門長	(1)、(2)	(1)	血漿6L
25J0238	○	赤血球濃厚液の検査試薬への使用	久保田 隆	富士レビオ株式会社 生産部門長	(2)	(1)	赤血球400単位
25J0239	○	検査用検体残余血清の検査試薬への使用	久保田 隆	富士レビオ株式会社 生産部門長	(1)、(2)	(2)	検査用検体残余血清、200L
25J0240	○	検査用検体残余血清の検査試薬性能確認用への使用	久保田 隆	富士レビオ株式会社 生産部門長	(1)、(2)	(2)	検査用検体残余血清、6300mL
25J0241	○	HTLV抗体検出用試薬の新規開発	二宮 忠司	富士レビオ株式会社 研究開発部門長	(1)、(2)	(1)	血漿2単位 300本程度
25J0243		第2学年 輸血・移植検査学実習	横尾 智子	新渡戸文化短期大学 臨床検査学科	(1)	(1)	赤血球2単位 28本、 血漿2単位 18本
25J0244	○	末梢血単核球を用いた抗体医薬の薬理活性の評価	鎌田 春彦	独立行政法人医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト サブプロジェクトリーダー	(2)	(2)	白血球除去フィルター 20人分
25J0245		新人看護師への輸血手順トレーニング	境 加津代	地方独立行政法人 大牟田市立病院 中央検査部 部長	(1)	(1)	赤血球 10本
25J0246	○	血漿中プラスミノーゲンの内皮細胞における機能解析	浦野 哲盟	浜松医科大学 教授	(2)	(1)	血漿400～500mL 5回
25J0248		宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門 実技研修会	山形 悟	宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門長	(1)	(1)	赤血球 5本、 血漿 5本
25J0249		宮城県臨床検査技師会 精度管理調査	山形 悟	宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門長	(1)	(1)	赤血球 3本、 血漿 5本
25J0250	○	熱帯熱マラリア原虫の赤血球侵入機構および細胞内物質輸送機構の解析	入子 英幸	鳥取大学・医学部・医動物学分野 助教	(2)	(1)	赤血球2単位 12本、 血漿2単位 12本
25J0251		熊本県における臨床検査精度管理調査	瀧口 巌	社団法人熊本県臨床検査技師会 会長	(1)	(1)	赤血球2単位 5本、 血漿2単位 5本
25J0252	○	子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）における分析対象化学物質優先順位付け	新田 裕史	独立行政法人 国立環境研究所 エコチル調査コアセンター センター長代行	(2)	(1)	赤血球 血漿 200mL 各50本
25J0253	○	血液型抗原に対する液性免疫応答の研究	吉澤 淳	京都大学医学部附属病院 臓器移植医療部 （肝胆膵・移植外科） 特定助教	(2)	(2)	白血球除去フィルター、8～12人分
25J0254	○	体外診断用医薬品製造販売承認前試験に用いる国内献血由来血清・血漿パネルの整備	小林 和夫	国立感染症研究所 免疫部長	(2)	(1)	血漿 120バッグ

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
25J0255	○	マラリア原虫生殖母体周縁のコイル状構造：未知の細胞骨格の可能性	竹尾　暁	杏林大学医学部　感染症学講座　寄生虫学部門　准教授	(2)	(1)	赤血球2単位　1本　月2回
25J0256		石川県医師会臨床検査精度管理調査	新谷　小百合	石川県臨床衛生検査技師会	(1)	(1)	赤血球　300mL、　血漿　540mL
25J0257		宮崎県内の輸血実技研修会	酒井　文博	(社)宮崎県臨床検査技師会　輸血研究班　班長	(1)	(1)	赤血球2単位　3本、　血漿2単位　3本
25J0258		輸血検査実技研修会	坂元　あい子	宮崎大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部	(1)	(1)	赤血球　6単位、　血漿　6単位
25J0259	○	薬毒物鑑定（定量分析）用対照血液の譲渡申請	塩田　英雄	長崎県警察本部　刑事部科学捜査研究所	(2)	(2)	検査用検体残余全血　20人分　年5回
25J0260	○	患者不規則抗体検査のための稀な血球及び抗体	藤井　輝久	広島大学病院　輸血部　部長	(2)	(2)	検査用検体残余血液、数mLを数本
25J0261		臨床化学検査の外部精度管理調査における最適な調査試料の作製と評価	篠原 克幸	社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会　理事	(1)	(2)	検査用検体残余血清　45L/年
25J0262	○	微量の血液検体によるリトドリン濃度測定法の開発とその応用	相馬　まゆ子	天使病院　薬剤科　主任薬剤師	(2)	(1)	血漿　月1本
25J0263		学生実習（輸血検査）	山根　京子	大阪医療技術学園専門学校　臨床検査技師科	(1)	(1)	赤血球　4本、　赤血球　10mL、　血漿　3本

【一般社団法人日本血液製剤機構に対する申請】

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
1001	○	ヒトアルブミンの性状比較	岩崎　敬治	味の素株式会社イノベーション研究所・研究所次長	(2)	(1)、(3)	アルブミン製剤（25%50mL）を4本

【一般社団法人日本血液製剤機構、一般社団法人化学及血清療法研究所、日本製薬株式会社に対する申請】

受付番号	事前評価	研究開発等課題名	研究責任者	所属・役職	献血血液の使用目的（※1）	献血血液の区分（※2）	献血血液の種類、量など
	○	輸血の安全性確保を目指した感染症安全対策体制構築のための研究	浜口　功	国立感染症研究所・血液・安全性研究部部長	(1)	(3)	血漿分画製剤の製造所が製造する原料血漿の全バッチ（1原料血漿プール当り200mL）

※1　献血血液の使用目的	(1)　血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上 (2)　広く国民の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2　献血血液の区分	(1)　血液製剤の規格に適合しない血液（検査等により不適合となった血液、有効期限切れの血液） (2)　血液製剤の製造に伴って副次的に得られるもの（検査用検体の残余血液、保管年限を超えた調査用の血液、血漿分画製剤の製造過程で得られた廃棄画分） (3)　血液製剤としての規格に適合する血液

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare
〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 電話：03-5253-1111（代表）
Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare, All Right reserved.